

はんない

～京都：広隆寺・映画村編～



1960年（昭和35）8月18日、太秦にある広隆寺（太秦を本拠とする渡来人の秦氏の氏寺として建てられたお寺）で、国宝第一号に指定されたある仏像の右手薬指が第一関節から折れ、3つの破片になっているのが発見された。同日の夕方、



京都大学法学部の学生が自首。仏像を見ているうちにどうしても頬ずりがしたくなって、監視員がいなくなった隙を狙い、仏像に近づき、台に上がって頬ずりをしようとしたその瞬間、右手薬指に接触してしまったとのこと（その10年前の1950年に、金閣の美しさに魅せられ、金閣に放火してしま

った京都の学生がいましたが）。この仏像こそ、聖徳太子から秦氏が賜ったという弥勒菩薩像です。



日本の仏像を対象に人気投票をすると、必ず最上位にくるのが、あどけない少年のような表情を持つ興福寺の阿修羅像と、「東洋のモナリザ」と呼ばれ、日本のみならず世界の人々を魅了してきた、この弥勒菩薩像なのです。ドイツの哲学者ヤスパースは「人間実存の最高の姿が余すところなく表現されている」と評しました。なぜ、この両者が人気を博すのか？理由のかなりの部分が、共通して、顔が小さくスリムで、今時の美男美女の条件にかなっているからと言われます。

ところで、弥勒菩薩の「弥勒」とは、サンスクリット語で「慈しみから生まれたもの（マイトレーヤ）」という意味ですが、まさに、広隆寺の弥勒菩薩像を見ていると、「慈しまれたい」「頬ずりしてほしい」との感情がわき上がってきます（もしかしてこれってヘン○イ？）。弥勒菩薩は、釈迦の弟子の中でも抜群の能力を持ち、大きな期待がかけられていました。釈迦の死後、（ちょっと待ちきれませんが）56億7000万年後に、釈迦の救済から漏れた人々を救う為にこの世に現れると考えられています（ウルトラマンや水戸黄門も番組終盤になら

ないと登場してきませんよね）。キリスト教やユダヤ教に説かれるメシア（救世主）によく似ていることから仏教版メシアとも言われます。弥勒菩薩像は、椅子に座り、右足を左足の上に組み、右手を頬の上にかざしています（その一番先端が折られてしまった薬指です）。これは、遠い未来にこの世に降りた時に、苦悩する人々をどのように救ったら良いのか考えているポーズなのです（ちなみに、ロダンの「考える人」は、死後の世界が、天国なのか地獄なのか、果たしてどのような世界なのか、について考えているとも一説には言われています）。この形から、この弥勒菩薩像

は、半跏思惟像とも呼ばれます。

弥勒菩薩のモデルについては様々な説がありますが、釈迦の弟子の中に「マイトレーヤ」というとても有能な名前の弟子が実在していたとする説や、イランのゾロアスター教の系統にあたるミトラ教の太陽神ミスラが、仏教に取り込まれたとする説などがあります。ただ、いずれにしても、釈迦の後継者と言うべき



立場にあるので、造形表現される時は、その立派さを表す為に、ありとあらゆる仏様のなかでも、最も巨体に造られるのが普通なのです。経典によれば、身長が 32 丈つまり約 92m と書かれている。実際に、アフガニスタンのタリバン政権によって爆破されてしまったバーミ안의大仏（約 55m）も弥勒菩薩像でした。

ところが、広隆寺の弥勒菩薩像は、そういうタイプでは全くない。正反対に、繊細の極みです。ただ実は、私たちが今、眼にする弥勒菩薩像は 110 年前にダイエツを試みたらしいのです。1904 年（明治 37）に実施された修理の際、もともと厚く塗られていた木屎漆（こくそううるし [木の屑と漆でつくった接着剤]）とその上の金箔を、最大で 7mm 削り取ってしまったらしいのです。そうすると、今のような薄くて華奢な胸も、実はそこそこ豊満で、触れれば折れそうな細い腕も、実は肉付きが良く、いかにも壊れ物のようなスリムで耽美的な魅力とは、違った雰囲気醸し出していたのかもしれませんが。また、折られてしまった右薬指と頬との間が現在 7mm ですから、当時は薬指と右頬はくっついてたのだと思います。もし、はじめからくっついていれば、前述の学生も、頬づりしようとは思わなかったかもしれませんね。

ちなみに、広隆寺には、もう一体「半跏思惟像」がいます。一般に知られている弥勒菩薩像を冠を被っているところから「宝冠弥勒菩薩像」と言うのに対して、身体は一回り小さく、髪を束ね、はかなく物憂げな、一見涙をこぼしているようにも見える“泣き弥勒”とも呼ばれる「宝髻半跏思惟像」があります。違った魅力を持つ 2 体の「半跏思惟像」、是非、どちらも拝んでみて下さい。



東映太秦映画村

この広隆寺のすぐ側にあるのが、映画村で広隆寺を氏寺とする「秦」氏に由来します。この名作品は、やはり「水戸黄門」シリーズ。それ坊将軍」などなど。

当初、「撮影所を一般に開放して、撮影風景アイデアは、「そんな裏側を見せるもんやない。ん来たりしたら、監督も役者もやりにくい。映画を作る工場や。材木置き場みたいな汚い所なんや。その裏を見せたらあかん」と社長に一蹴されたそうです。しかし、しつこく食い下がったら、「そんなに言うなら、一日だけやってみい」と言われ実行したところ、観客が押し寄せる大盛況で、社長もこれに納得し、1975 年に東映京都撮影所の一部を分離し、巨大映画アミューズメントとして開村に至ったとのこと。つまり、映画村は、日本におけるテーマパークの先駆けで、いわば「日本版 USJ」なのです。現在では、時代劇のロケを間近で見学できるだけでなく、時代劇の殺陣講座などの体験や、俳優のトークショー、スーパー戦隊・仮面ライダーのキャラクターショー、舞妓・姫・殿様・武士・町人・町娘など、時代劇の登場人物への変身体験ができる変身スタジオもあります。



す。「太秦」の名前も、ここで撮影された最も有名な「銭形平次」「暴れん

を見てもらう」というアそれに観客がぎょうさ画は夢や。撮影所はその



今号をもって「はんなり」での紹介は終わりです。

皆さんのほとんどが、スマホという素晴らしいアイテムを持っているかと思います。自主研修については、事前に十分に情報を入手して（中には、事前予約が必要な場所もあります）、楽しく、実りある有意義な研修にして下さい。